

テルモロッシ

Thermocell 500 取扱説明書

目次：

1. はじめに

- 1. 1 注意事項
- 1. 2 安全のために
- 1. 3 標準、推奨事項
- 1. 4 輸送と保管

2. 仕様

3. 設置について

- 3. 1 サーモセルの設置場所
- 3. 2 電気配線について
- 3. 3 追加貯湯タンクの組立てとサーモコントロールとの電気配線
- 3. 4 サーモセルの配管
- 3. 5 Thermopuffer の配管

4. 配管回路図

- 4. 1 ペレットボイラー+サーモセル+Thermopuffer+高温加熱と低温過熱の場合の代表的な回路図
- 4. 2 ペレットボイラー+サーモセル+高温加熱と低温過熱の場合の代表的な回路図
- 4. 3 ソーラーパネルからサーモセルへの回路図
- 4. 4 ペレットボイラー+サーモセル+高温加熱と低温過熱+ソーラーパネル+セントラルクッカー/ヒータの場合の代表的な回路図

5. 「SANFAST」による給湯温度の調整

6. スペアーパーツ

Thermorossi “CE” マーク安全基準適合宣言

テルモロッシ社 (住所: Via Grumolo 4-ARSIERO (VI), Italy) の責任において、エコサーモシリーズのストーブは、CE マークの要求する安全基準に基づいて設計、製造されています。

ARSIERO, March 2010

Thermorossi S.p.A.



THERMOROSSI “CE” マーク安全基準適合宣言

以下の基準にしたがっています。

ヨーロッパ基準 EEC 73/23 その後の修正 93/68/EEC

EEC 89/336 その後の修正 93/68/EEC

92/31/EEC

93/97/EEC

テルモロッシ社（住所：Via Grumolo 4-ARSIERO (VI), Italy）の責任において、エコサーモシリーズのストーブは、CE マークの要求する安全基準に基づいて設計、製造されています。

この宣言は、エコサーモシリーズすべての製品に該当します。

1. はじめに

1. 1 ご注意

この説明書は、設置、操作、メンテナンスに必要ですので、お客様が必ず保管して下さい。設置、操作、メンテナンスの前に本書をよく読んで下さい。本書に書かれているメンテナンスは必ず実施して下さい。この製品は、本書に記載されている使用方法にしたがって使用して下さい。それ以外の使い方や、誤った使い方をすると危険です。その際生じた事故や故障は、すべてお客様の責任となります。

この製品の設置、メンテナンスおよび修理は専門の技術を持った業者の手で規格に沿った説明書に従っておこなってください。部品交換が必要な際は、必ず正規の部品を使用して下さい。

誤った設置の仕方や、ずさんなメンテナンスによるけがや器物破損が生じた場合、メーカーはいかなる責任も負いません。製品のクリーニングやメンテナンス作業を行う前には、必ずすべてのスイッチを「切」の状態にして電源プラグを抜いてください。この製品は燃焼に最適な場所へ適切に設置され稼動に必要な全てのサービス（電源、アースなど）を供給して下さい。

テルモロッシの許可しない修理、システム、装置に供給された部品および備品に使用された場合、1998年5月24日 art. 6/b の D.P.R.224 に従ったテルモロッシの保証、製造責任は無効となります。テルモロッシの純正部品を使用して下さい。またこの製品を売却または譲渡する時は、この取扱説明書を必ず製品に附属してください。本マニュアルの著作権はテルモロッシにあります。本マニュアルの情報を許可なく複製したり、第三者へ与えたり、競合他社のために使用したりしてはなりません。

1. 2 安全のために

・ 警告



この表示の注意事項を守らないと、死亡や大けがなどの重大な人身事故の原因となります。

・ 注意



この表示の注意事項を守らないと、製品の破損や故障の原因となります。

・ 重要事項



この表示は、製品を使用の際、とくに重要な事柄を示しています。

1. 3 標準と推奨事項



参照規格：製品の設計、工業化、生産の国内及び国際規格は下記に基づいております。
ヨーロッパ規格：73/23/EEC ヨーロッパ規格：93/68/EEC ヨーロッパ規格：89/336/EEC
標準 CEI EN 60204 標準 CEI 64-8 (IEC364) 標準 CEI 61/50

推奨

正しい設置、使用、メンテナンスを行うために、必ずこの取扱説明書を熟読してください。
配電の全体の接続は専門技術者にて行って下さい。ストーブの設置、使用及びメンテナンス手順が正しく行われていない場合、第三者へ損害を与えても責任を負えません。ユーザーによってまたはユーザーの為に改造した場合、改造者に全ての責任があると判断します。ユーザーは使用前、使用中の設置及びメンテナンスに必要な操作において責任があります。

一般的な注意事項

この製品は、かならず PE アース (EEC 73/23 スタンド、EEC 93/98 スタンドに
適応。低電圧電気機器用) に接続してください。設置前に、アース回路が有効であることをお確かめください。

注意：電源ケーブルには機器の容量に適切なものであるかご確認ください。新築の場合アース付コンセントを設けて下さい。この製品本体は、220-240V、50Hz を供給して下さい。10 パーセント以上高い電圧で使用すると、運転が正常に行われず、もしくは破損のおそれがあります。日本で使用する場合は 220/100V の変圧トランスを介して使用します。60Hz の地域でご使用になる場合、送風ファンなどのモーターの電力レベルを変更しなければならない場合もありますので、設置時に稼動状況をご確認下さい。

コンセントが容易に接続できる場所にストーブを設置して下さい。10%以上低い電圧で使用すると照明や運転に問題が起こる恐れがあります。正しいトランスを使用して下さい。適切な切り替えスイッチが機器から電源の間に装着されるようにして下さい。

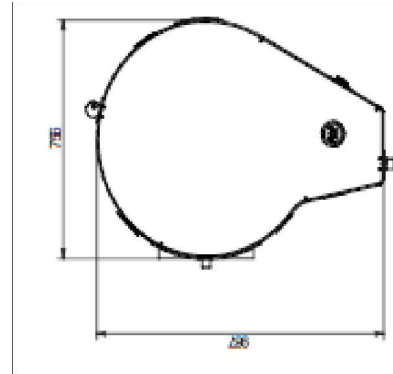
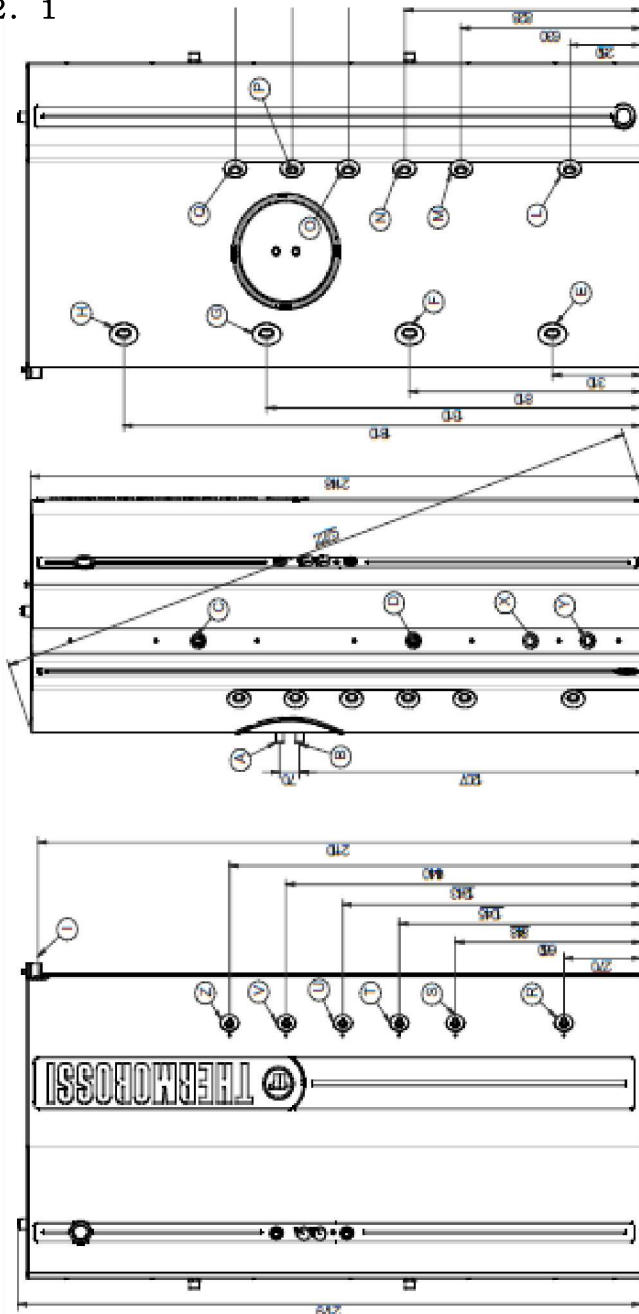
1. 4 輸送と保管

輸送と運搬

ストーブ本体を移動するときは、衝撃を与えないように十分注意してください。

保管

ストーブ本体およびカバーは、湿気やカビのない屋内で保管してください。直射日光や風雨を避け、また、本体を直接床に置かないようにしてください。また長期間の保管は得策ではありません。保管場所による機器への影響はいかなる場合も保証いたしません。



- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| A : 追加ボイラー時の熱交換器行き (オプション) | B : 追加ボイラー時の熱交換器戻り (オプション) |
| C : 「SANFAST」 戻り (1") | D : 「SANFAST」 行き (1") |
| E : 追加貯湯タンク接続ポート (1"1/2) | F : 追加貯湯タンク接続ポート (1"1/2) |
| G : 追加貯湯タンク接続ポート (1"1/2) | H : 追加貯湯タンク接続ポート (1"1/2) |
| I : 自動制御システム用ポート (1") | L : ボイラー用接続ポート (1") |
| M : ボイラー用接続ポート (1") | N : ボイラー用接続ポート (1") |
| O : ボイラー用接続ポート (1") | P : ボイラー用接続ポート (1") |
| Q : ボイラー用接続ポート (1") | R : 検出ポート (1/2") |
| S : 検出ポート (1/2") | T : 検出ポート (1/2") |
| U : 検出ポート (1/2") | V : 検出ポート (1/2") |
| X : ソーラーパネル用熱交換器行き (1") | Y : ソーラーパネル用熱交換器戻り (1") |
| Z : 検出ポート (1/2") | |

断熱材厚さ : 75mm

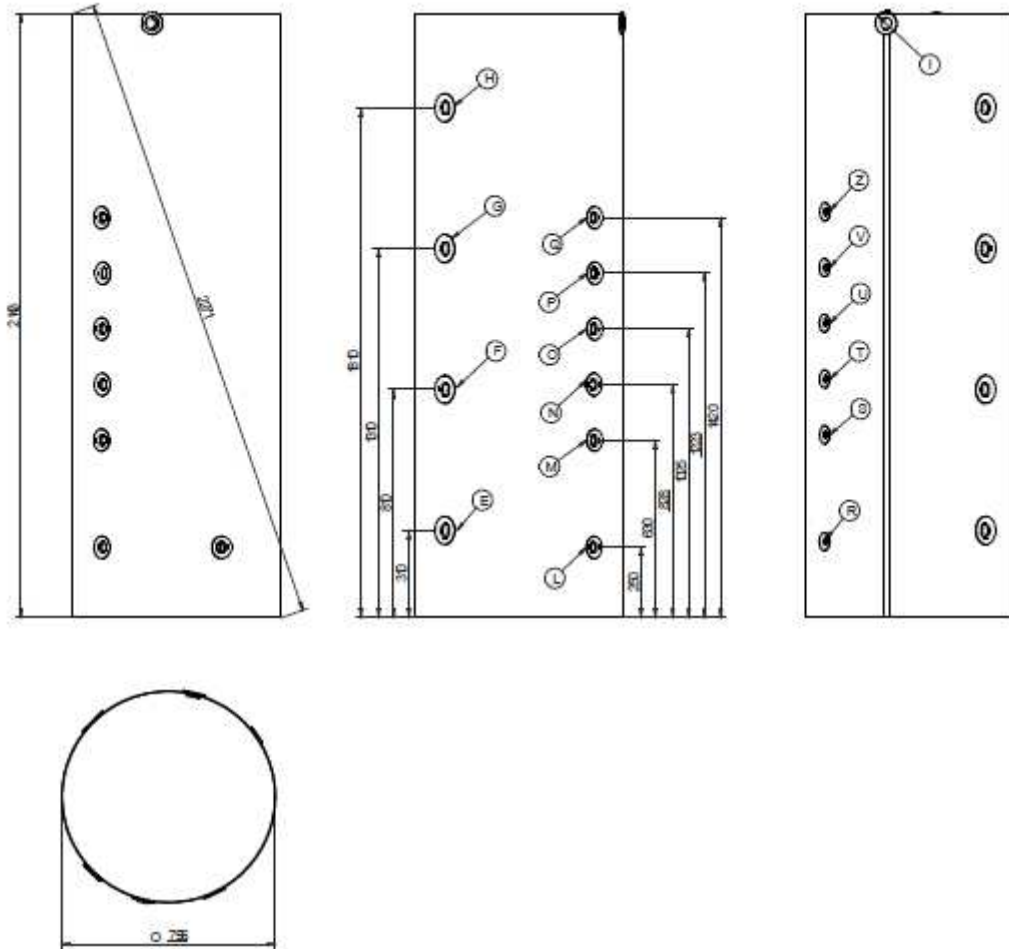
貯湯タンク容量 : 500L

最高稼働圧力 : 3bar

最高給湯圧力 : 6bar

最高温度 : 100°C以下

2. 2 追加貯湯タンク



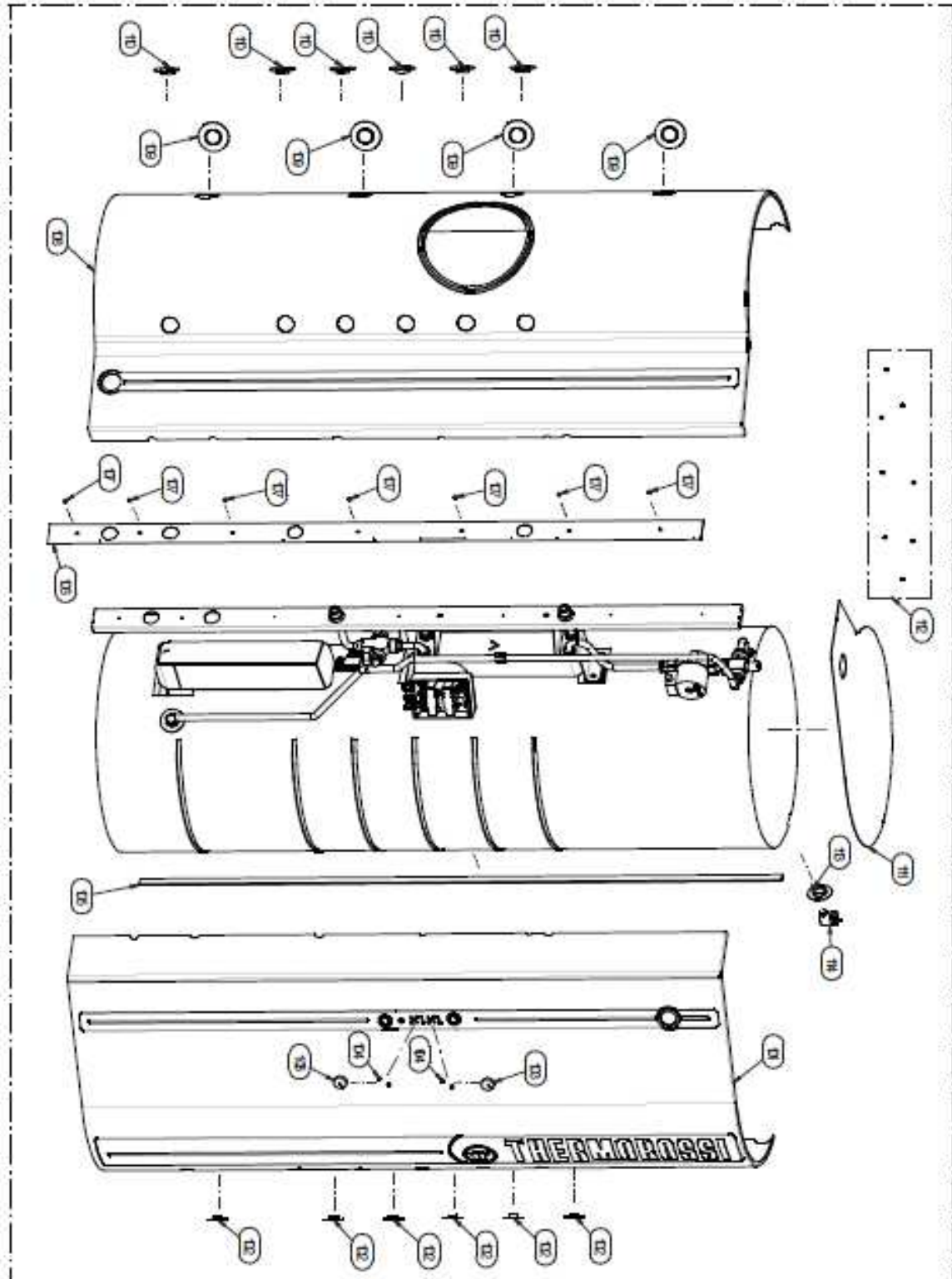
- E : 追加貯湯タンク接続ポート (1"1/2)
- G : 追加貯湯タンク接続ポート (1"1/2)
- I : 自動制御システム用ポート (1")
- M : ボイラー用接続ポート (1")
- O : ボイラー用接続ポート (1")
- Q : ボイラー用接続ポート (1")
- S : 検出ポート (1/2")
- U : 検出ポート (1/2")
- Z : 検出ポート (1/2")

- F : 追加貯湯タンク接続ポート (1"1/2)
- H : 追加貯湯タンク接続ポート (1"1/2)
- L : ボイラー用接続ポート (1")
- N : ボイラー用接続ポート (1")
- P : ボイラー用接続ポート (1")
- R : 検出ポート (1/2")
- T : 検出ポート (1/2")
- V : 検出ポート (1/2")

断熱材厚さ : 75mm
 貯湯タンク容量 : 500L
 最高稼働圧力 : 3bar
 最高温度 : 100℃以下

3 設置について

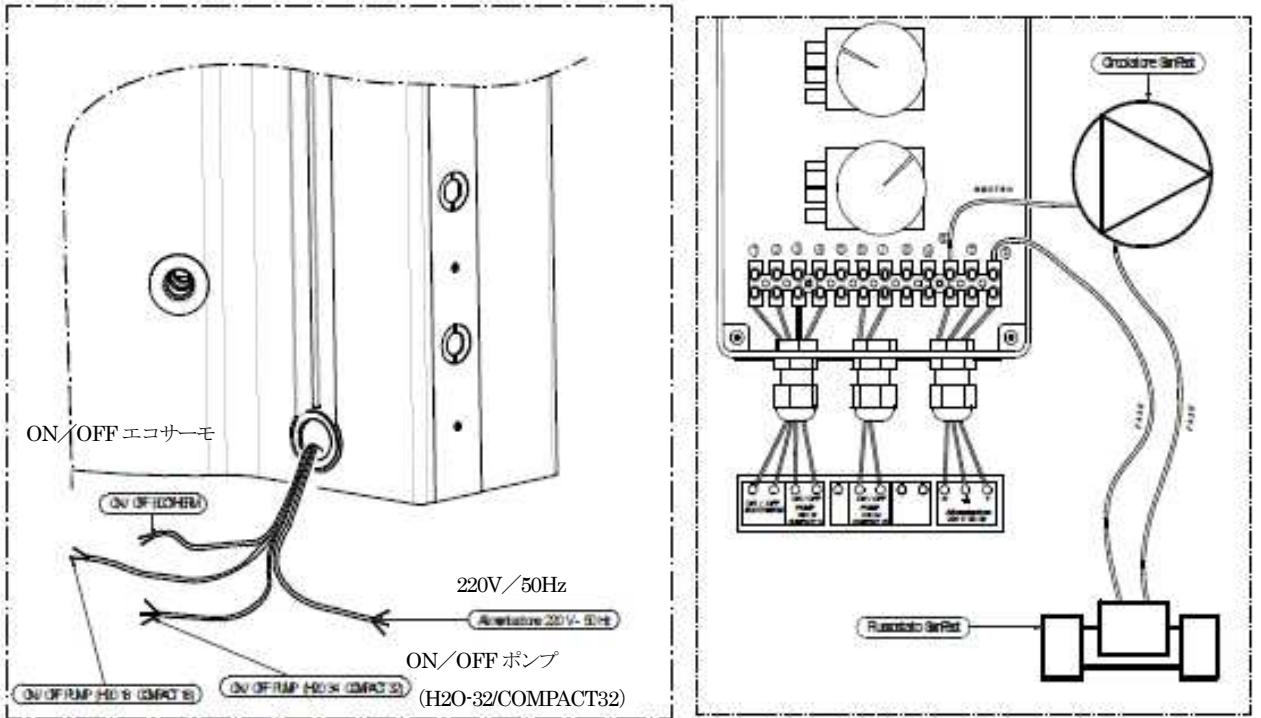
3. 1 サーモセルの設置



注意：装置は設置される状態（立てて）にして台車などを使って運搬して下さい。（1.1 項参照）設置される床はタンクが満水の状態でも耐えられる強度にして下さい。サーモセルを設置する間に外側のケーシングが損傷するのを防ぐために、設置位置に固定するまではケーシングを一度分解して固定後に再組して下さい。ネジ（112）を緩めトップ（111）、ストレーナーバルブ（114）プラグ（113）を外して下さい。続いて外枠（105）、プラグ（102）、ツマミ2つ（103）、ネジ4つ（104）を外して下さい。次にネジ（107）を緩め外枠（106）を外すとケーシング（101）を外せます。（緑のLED用電気配線に注意して下さい。）最後にプラグ（109）（110）を外すとケーシング（108）を取り外せます。（電気配線に注意して下さい。）設置が完了したら以上を再組して下さい。追加の貯湯タンクを設置する場合はこの作業は必要ありません。

3. 2 サーモセルの電気配線

サーモセルの電気配線は下図左側を参照して下さい。(サーモコントローラーについてはサーモセルの取説の中の説明を参照して下さい。) また下図右の結線図を参照して下さい。

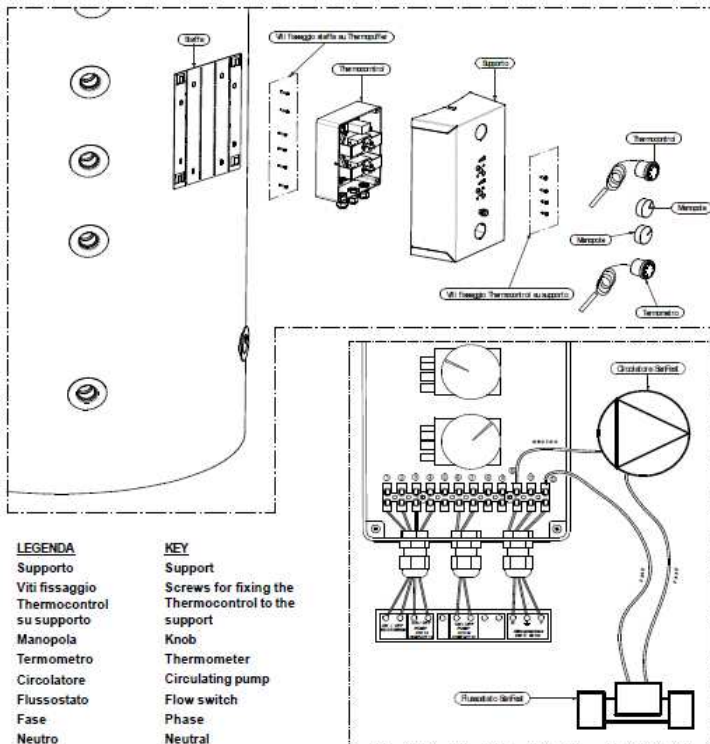


ON/OFFポンプ
(H2O-18/COMPACT18)

3. 3 追加貯湯タンクの組立てとサーモコントロールとの電気配線

追加の貯湯タンクにサーモコントローラーを設置するためには下図を参照して下さい。下図のようにサーモコントローラーの取扱説明書に従って配線して下さい。(説明書は商品に添付されています。)

2つのサーモスタットをシートへ装着して下さい。コントローラーの2つのツマミを抜いてください。サポートに固定している4つのネジを外してカバーを取って下さい。そこへ先に抜いたツマミ部を装着して下さい。次にタンクのブラケットへ6つのネジで本体を固定して下さい。ブラケットにしっかり固定したら説明書の回路図に従ってサーモスタットと温度計を装着して下さい。

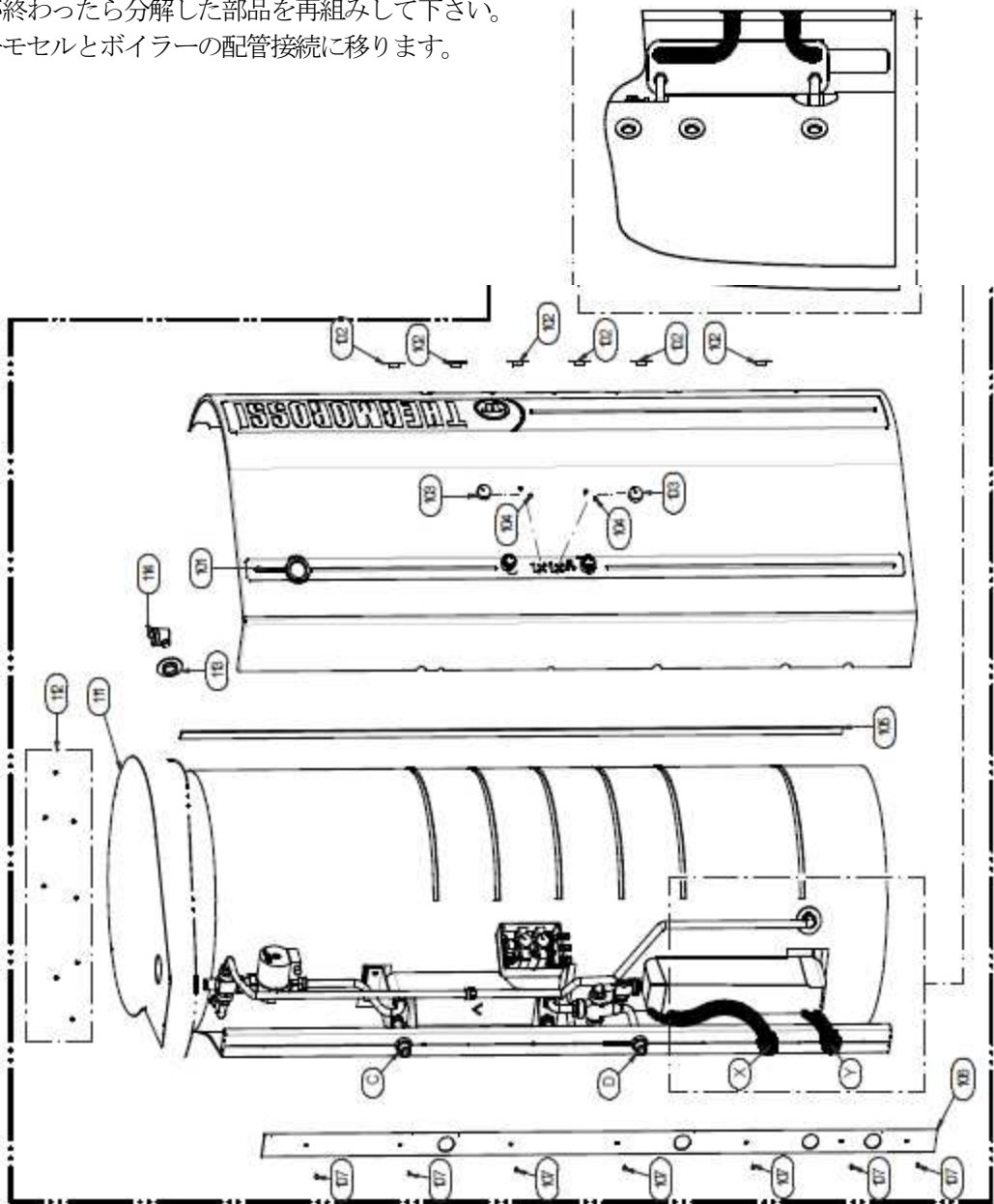


LEGENDA	KEY
Supporto	Support
Viti fissaggio	Screws for fixing the
Thermocontrol su supporto	Thermocontrol to the support
Manopola	Knob
Termometro	Thermometer
Circolatore	Circulating pump
Flussostato	Flow switch
Fase	Phase
Neutro	Neutral

3. 4 配管の接続

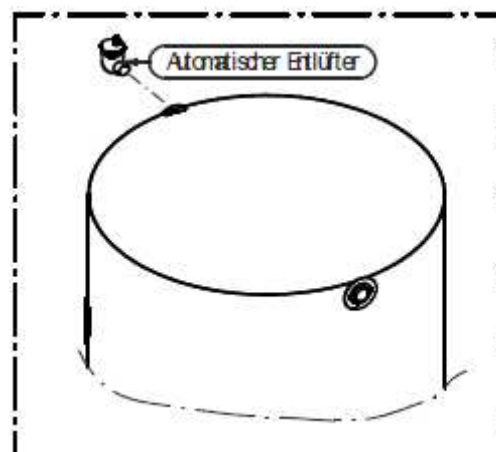
配管の接続は下図を参照して下さい。ネジ (112) を緩めトップ (111)、ストレーナーバルブ (114) プラグ (113) を外して下さい。続いて外枠 (105)、プラグ (102)、ツマミ 2つ (103)、ネジ 4つ (104) を外して下さい。次にネジ (107) を緩め外枠 (106) を外すとケーシング (101) を外せます。(緑の LED 用電気配線に注意して下さい。)

ソーラーパネルからの配管を X と Y に接続して下さい。給湯用行き、市水供給を C と D へ接続して下さい。これが終わったら分解した部品を再組みして下さい。
続いてサーモセルとボイラーの配管接続に移ります。



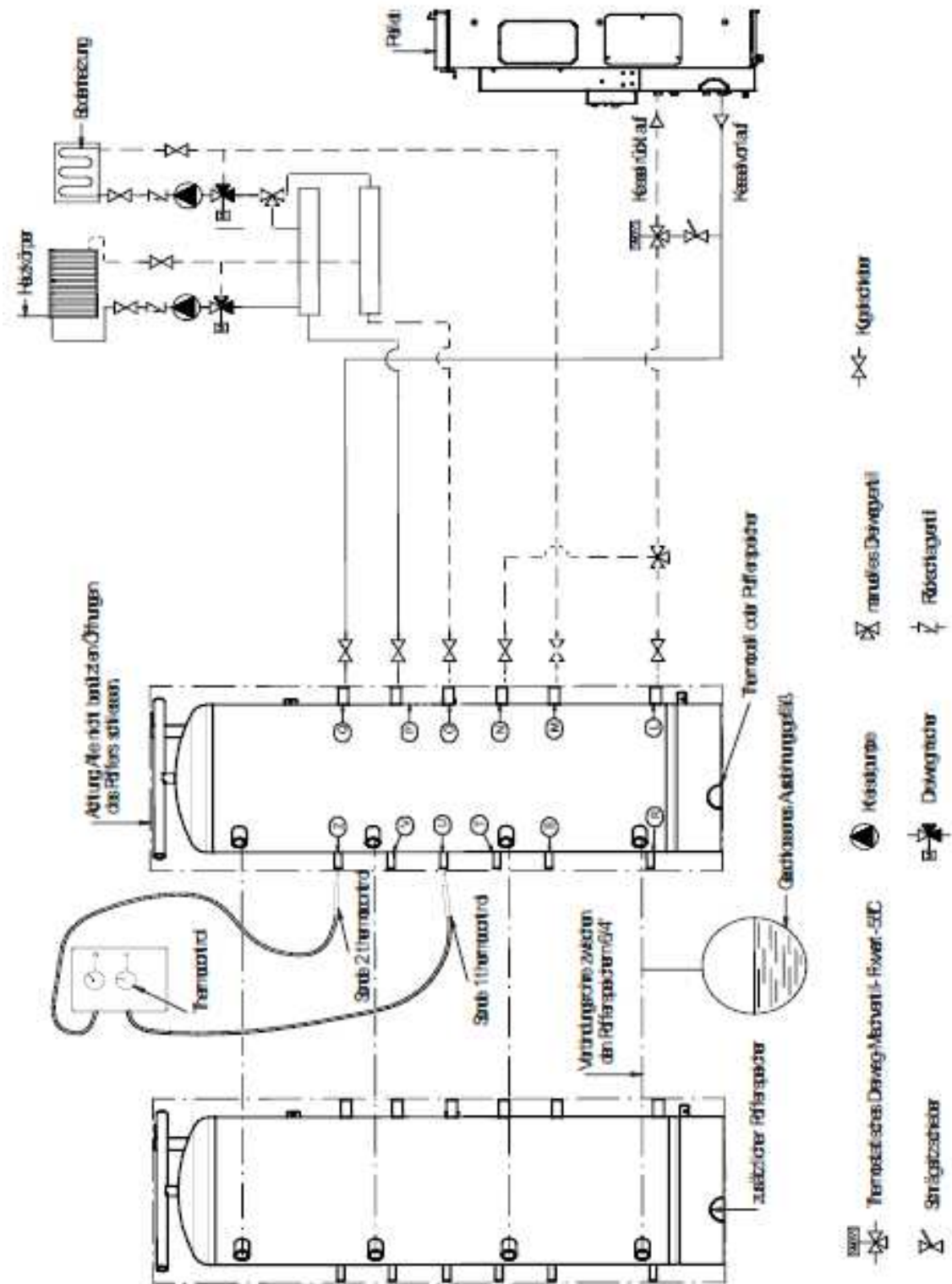
3. 5 Thermopuffer (追加貯湯タンク) の配管

追加貯湯タンクには右図のように自動ストレーナーバルブ (別売品) を装着して下さい。次にサーモセルとの配管は次項の回路図を参照して下さい。



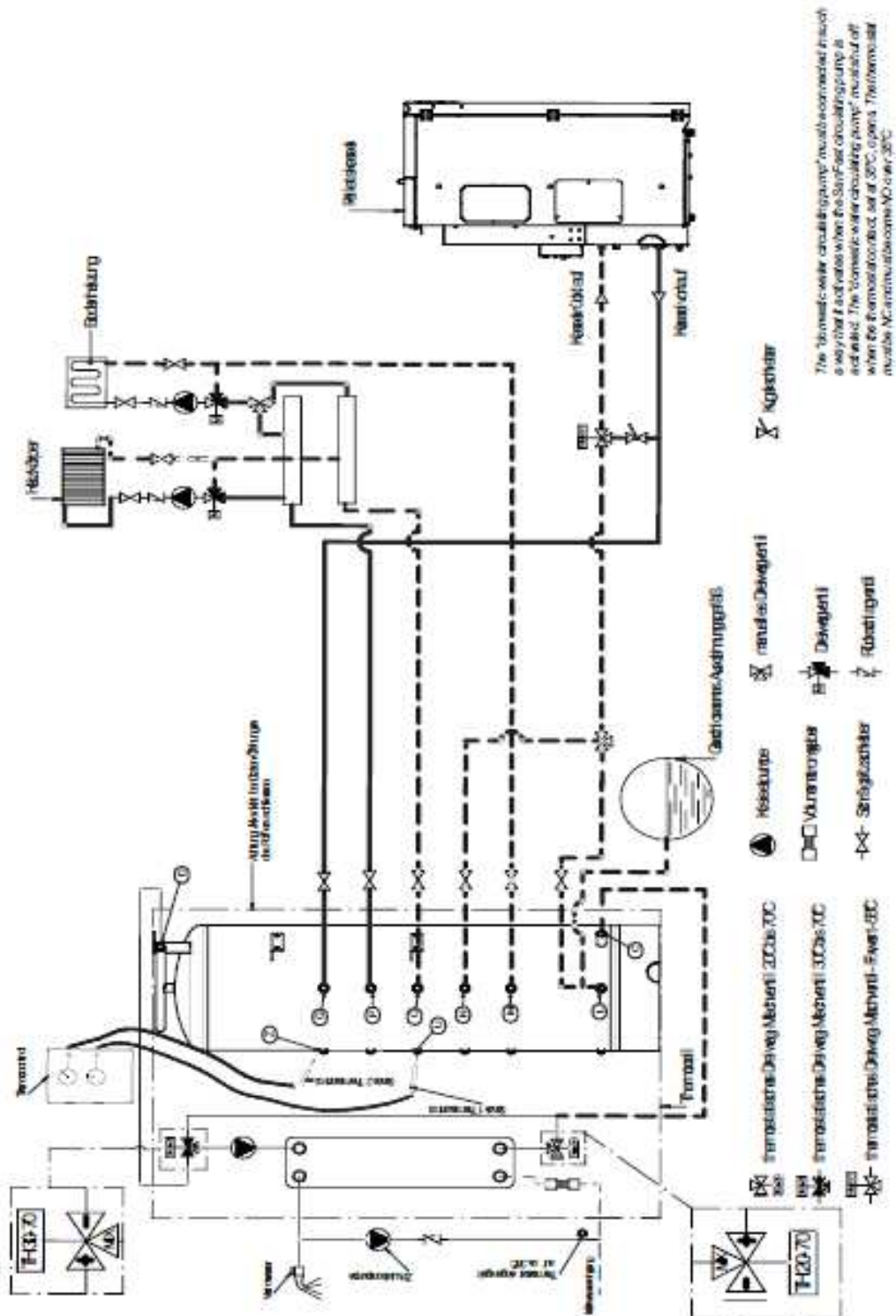
4. 回路図

4. 1 ペレットボイラー+サーモセル+Thermopuffer+高温加熱と低温過熱の場合の代表的な回路図



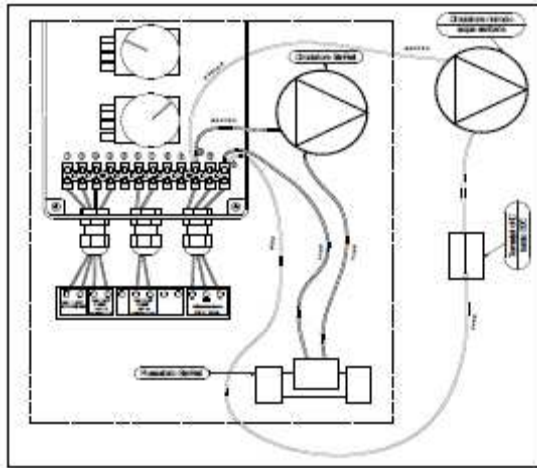
4. 2 ペレットボイラー+サーモセル+高温加熱と低温過熱の場合の代表的な回路図

注意：フランスのように水の硬度が 14° 以上の場合、軟化材を混入させて下さい。水の硬度は管理している水道局へお問い合わせ下さい。

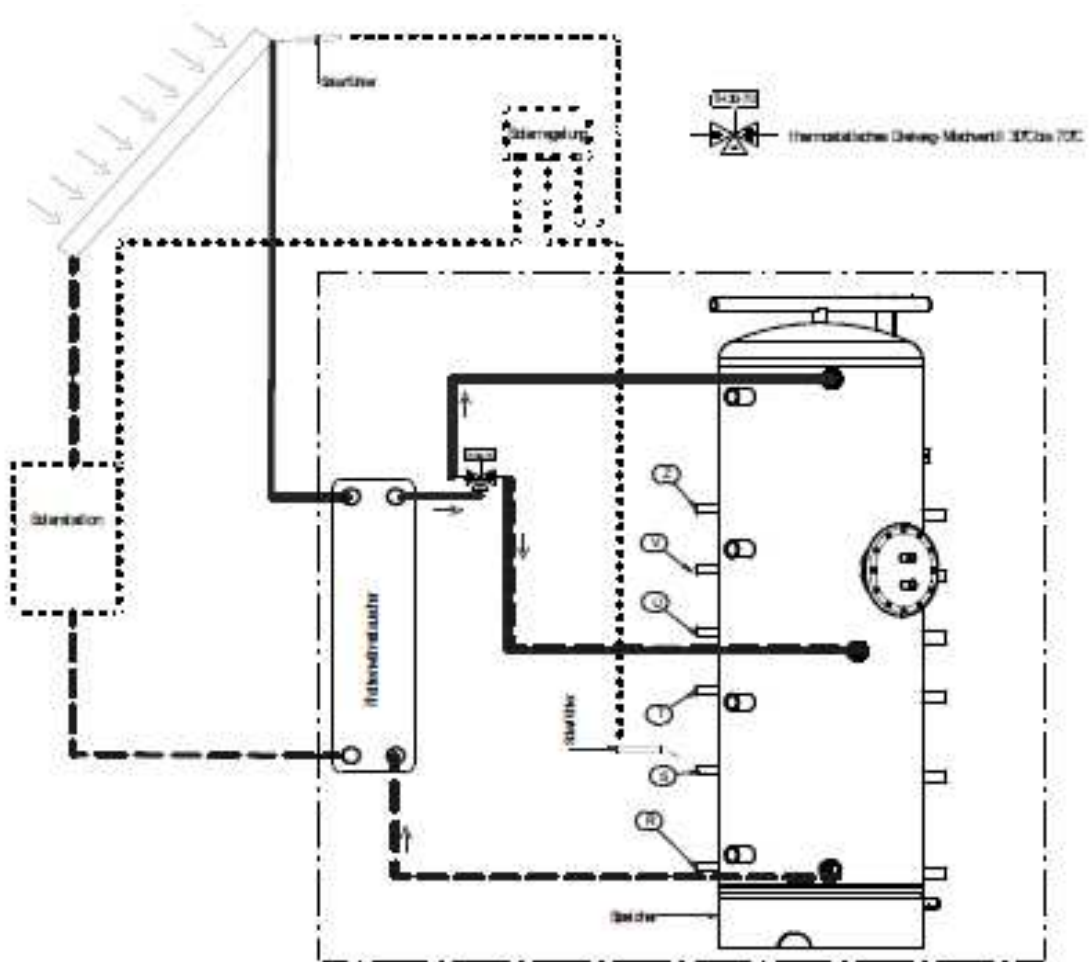


4. 2. 1 市水用循環ポンプの電気配線

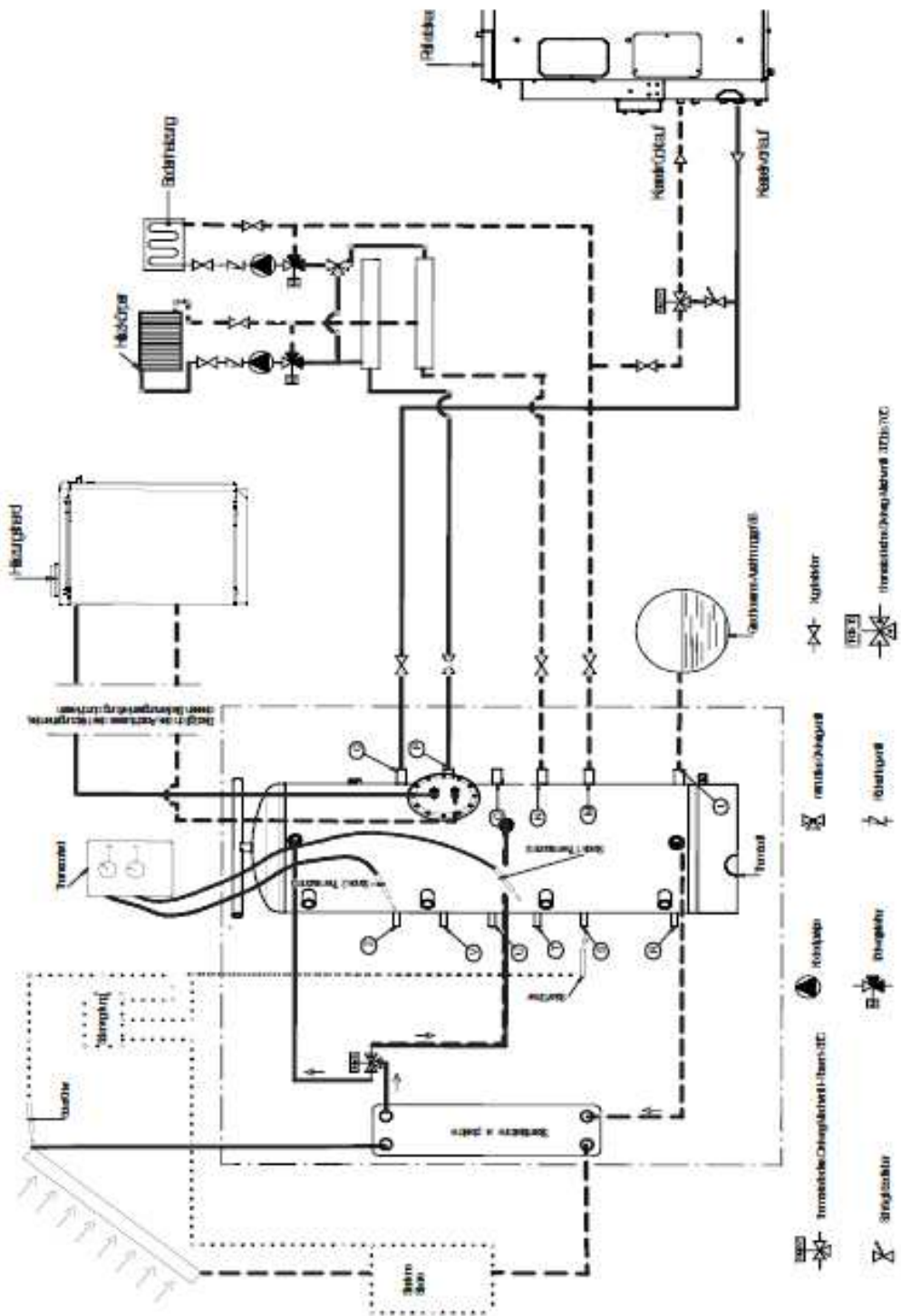
注意：市水用の循環ポンプと 35℃サーモスタットは下図に従って配線してください。



4. 3 ソーラーパネルからサーモセルへの回路図

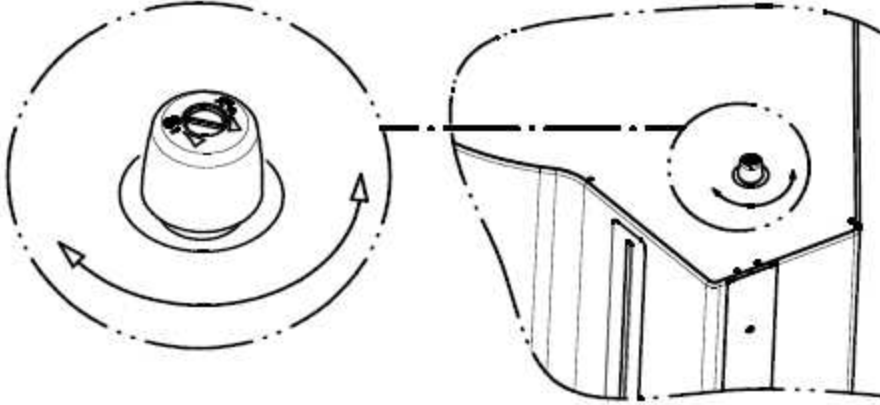


4. 4 ペレットボイラー+サーモセル+高温加熱と低温過熱+ソーラーパネル+セントラルクッカー/ヒータの場合の代表的な回路図



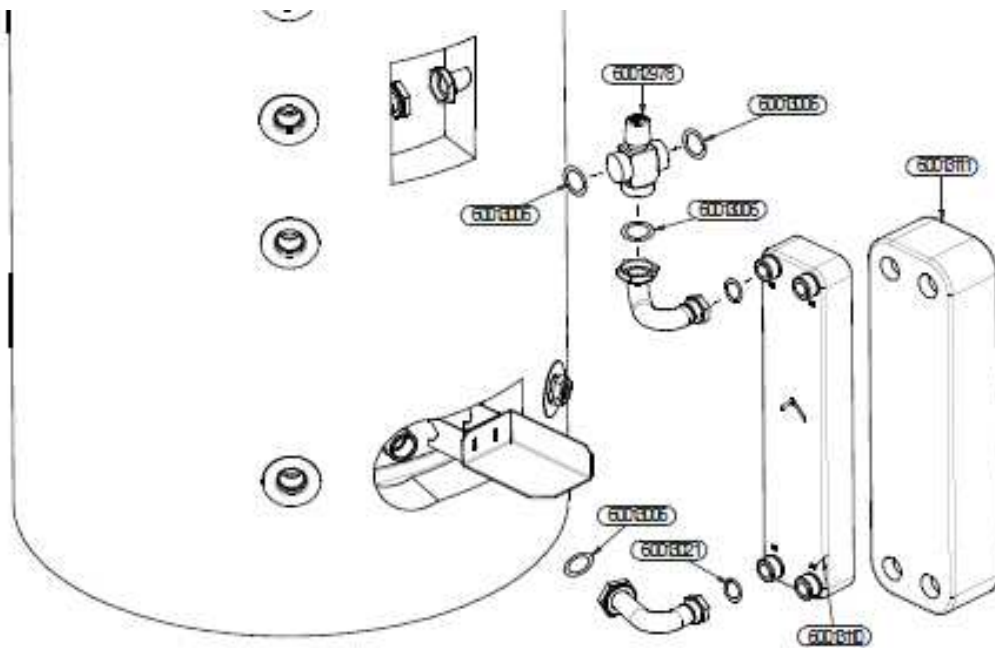
5. 「SANFAST」による給湯温度の調整

給湯温度は下図の調整により 30～70℃の間で調整出来ます。:最高温度は貯湯タンクの温度に依存します。
調整ノブを右に回すと給湯温度は低くなり反対に左へ回すと給湯温度が高くなります。
注意: フランスのように水の硬度が 14° 以上の場合、軟化材を混入させて下さい。水の硬度は管理している水道局へお問い合わせ下さい。

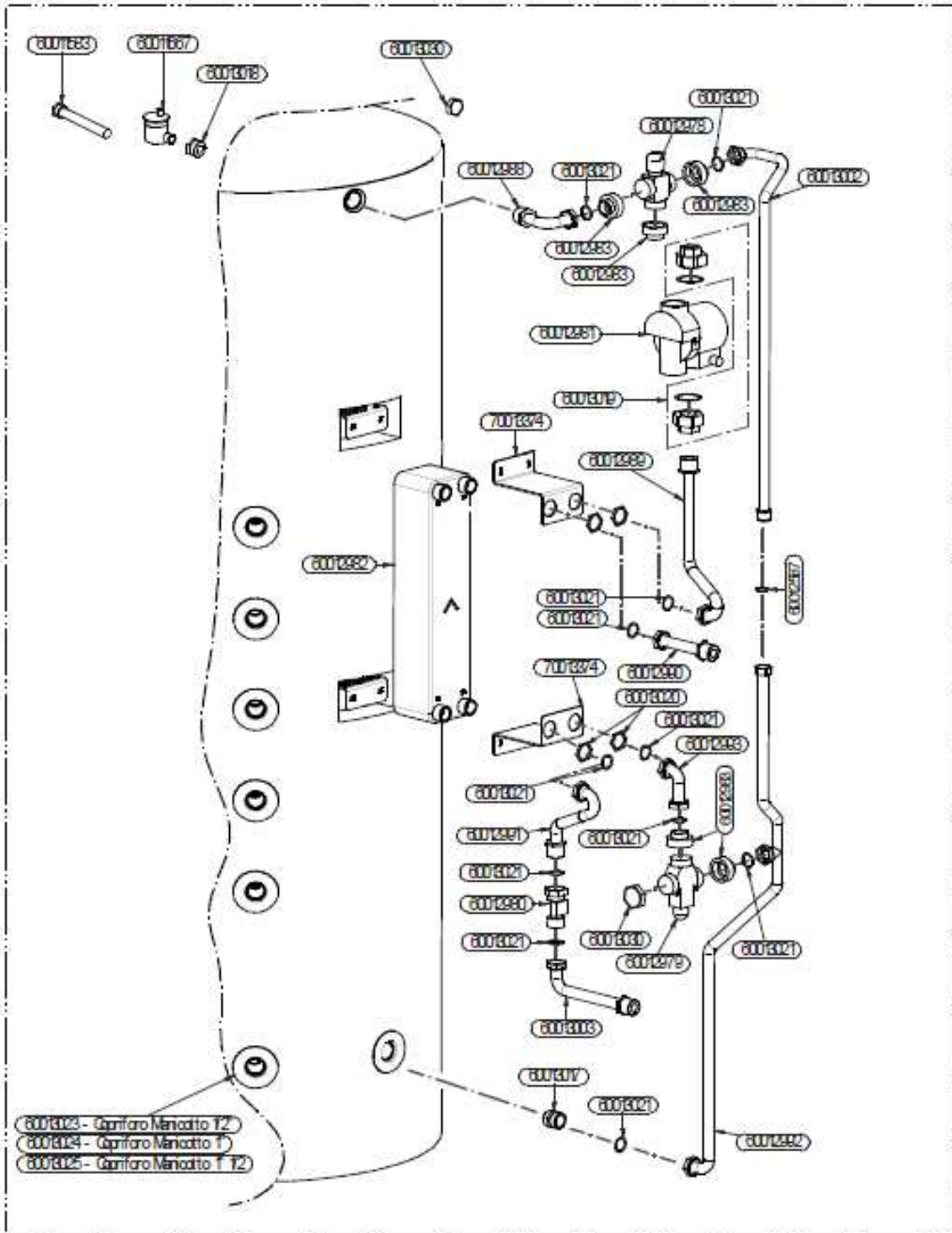


6. スペーパーパーツ

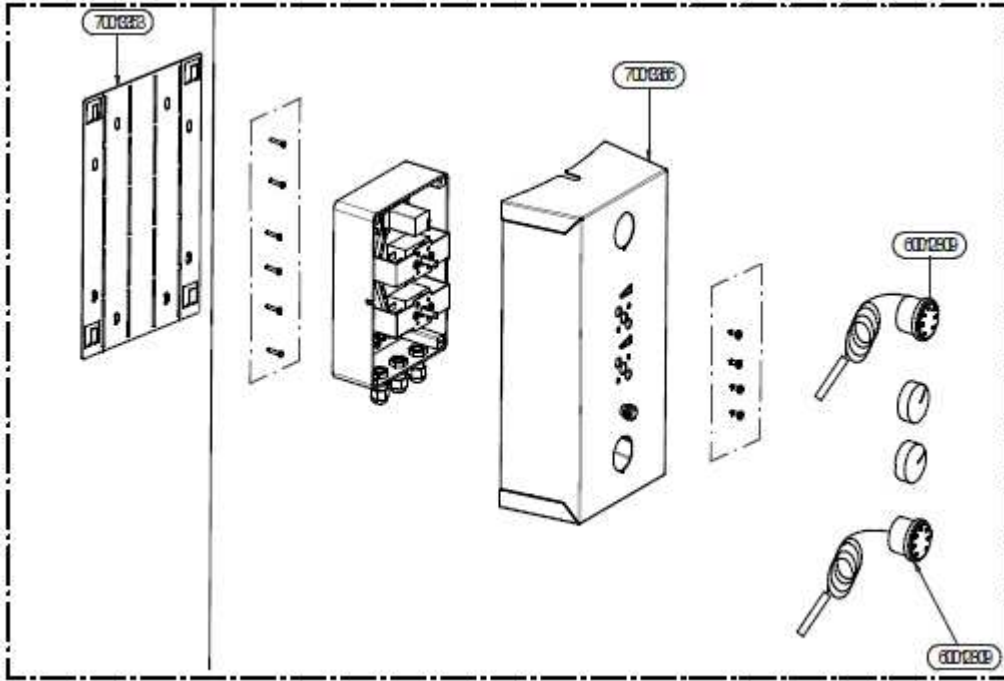
6. 1 サーマセルスペーパーパーツ (1/2)



6. 2 サーモセルスペアパーツ (2/2)



6. 3 追加貯湯タンクスペアパーツ



6. 3. 3 オプション用スペアパーツ

